

内政外交定期報告

2013年7月～9月

【要旨】

内政

●2014年大統領選に向け、各党の候補が決定。与党国民解放党（PLN）においては、ライバルの相次ぐ撤退によりジョニー・アラヤ前サンホセ市長が無投票で選出。野党議員からアラヤ陣営への参入が相次いだ。

●野党側では、自由運動党（ML）のオット・ゲバラ氏が4度目の挑戦、市民行動党（PAC）ではルイス・ギジェルモ・ソリス氏が選出された。

外交

●ニカラグアのオルテガ大統領が、グアナカステ地方は歴史的にニカラグア領であると発言し、これに対してコスタリカ政府が強く反発した。

●チンチージャ大統領が国連総会に出席し、潘事務総長等の会談において、対ニカラグア紛争に対するコスタリカの立場への理解を求めた。

【本文】

I. 内政

1. 2014年大統領・国会議員選挙

（1）各党の大統領候補決定

6月8日、自由運動党（ML）党大会でゲバラ氏が大統領候補に決定した。また、新党首にクベロ議員が就任した。

6月30日、アラヤ・サンホセ市長が、大統領選に専念するために市長を辞任し、ガルシア第一副市長が市長に昇格した。7月29日、与党 PLN 党大会において、アラヤ氏が正式に党の大統領候補として承認された

7月21日、市民行動党（PAC）大統領候補党内予備選が実施され、フアン・カルロス・メンドーサ議員とルイス・ギジェルモ・ソリス氏の票が拮抗。再集計の結果、29日にソリス氏が大統領候補として決定した。

（2）8月25日、与党 PLN の党大会が開催され、国会議員候補57人が選出された。アラヤ候補の親族が二人、サンホセ市長時代の関係から市長・副市長が複数選出されるなど、アラヤ候補に近い人物が多数を占めた一方、アリアス派に近い人物は大きく抑制された。また、チンチージャ政権の元閣僚3人（ピスク元労働大臣、マリン元地方分権担当大臣、クラーク元女性担当大臣）が選ばれた。

(3) 8月6日、排除無き参画党 (PASE) の3議員が、アラヤ PLN 候補陣営への参入を発表した。

9月7日、フィッシュマン議員 (無所属、元 PUSC 会派) が、アラヤ PLN 候補陣営への参入を発表した。

2. その他

(1) 7月18日、1年前にプライベート・スキャンダルで更迭されたボラーニョス青年次官の後任に、イレーネ・モラレス氏が任命された。

(2) 8月14日、中国の協力による製油所建設問題で辞任したビジャロボス・コスタリカ石油公社 (RECOPE) 総裁の後任にボルトン氏の就任が決定。

(3) 9月3日、空席となっていた女性大臣に、マリア・イサベル・チャモロ氏が任命された。チャモロ氏は98～02年に国会議員を務めた他、職業訓練庁 (INA) の社会開発顧問等を務めた。

3. 9月の UNIMER 社世論調査による大統領支持率

大統領の施政について

非常に良い・良い：13% (前回9%)

悪い・非常に悪い：56% (前回60%)

II. 外交

1. ニカラグアとの国境問題

(1) 8月13日にニカラグアのオルテガ大統領が、グアナカステ地方は歴史的にニカラグア領であると発言したことを受け、同14日、外務省はプレスリリースを発表し、オルテガ大統領の発言に根拠はなく、コスタリカに対する政治的敵意と領土拡張主義を示すものであると強く抗議した。またチンチージャ大統領は関係閣僚を集めて緊急会合を開催し、ニカラグアに対して断固とした態度で臨むことを確認した。同22日にはグアナカステ地方にあるニコヤ市役所と市民による、オルテガ大統領発言への抗議活動が実施され、チンチージャ大統領もこれに参加した。

2. メンドーサ国会議長の中国訪問

7月6日から10日にかけて、メンドーサ国会議長他与党 PLN の4議員が中国を訪問した。訪問中には張徳江・全人代常務委員長 (共産党政治局常務委員) と会談し、両国の議員協

カやコスタリカにおける経済特区設立のための法整備等につき協議した。今次訪問は、6月にコスタリカを訪問した習近平国家主席の招待により実現したもの。

3. ベアード加外相の訪問

7月30日、ベアード加外相がコスタリカを訪問し、カスティージョ外相と会談した。両外相は二国間・地域関係の強化や、人権、通商、投資等につき協議した。

4. フィジーとの外交関係樹立

8月2日、ニューヨーク国連代表部において、コスタリカとフィジーの両大使が、両国の外交領事関係樹立に関する共同宣言に署名した。

5. 第2回 CELAC 移民会合の開催

9月5日、コスタリカで第2回 CELAC 移民会合が開催され、ラ米カリブ地域内の移民問題について各国外相が協議した。

6. 第4回中国ーラ米カリブ友好フォーラムの開催

9月9日～11日、ラ米カリブ各国の中国協会代表がコスタリカに集まり、ラ米カリブと中国との文化・社会関係強化に関するフォーラムを開催した。

7. チンチージャ大統領の国連総会出席

9月24日～30日、チンチージャ大統領は国連総会に出席し、一般討論演説を行った他、潘国連事務総長との会談、サントス・コロンビア大統領との会談、インスルサ OAS 事務総長との会談、ジェイコブソン米国務次官補（西半球担当）との会談、キラン安保理議長との会談、武器貿易条約・核軍縮に関するハイレベル会合、人権に関する国際フォーラム、企業家との朝食会等をこなし、各会合において、ニカラグアとの領土紛争に対するコスタリカの立場への理解を求めた。